

## 第2類医薬品

この添付文書は必要な時に読めるように大切に保管し、服用の際には必ずお読みください。

## 漢方製剤



## JPS 漢方顆粒-80号

温清飲は皮膚がかさかさして色つやが悪く、のぼせる方の生理不順、更年期障害、湿疹・皮膚炎などを改善します。血液の流れを良くし、炎症を鎮める働きがあります。

本剤は漢方処方である温清飲の生薬を抽出し、乾燥エキスとした後、服用しやすい顆粒剤としました。



## 使用上の注意

**してはいけないこと**

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3ヵ月未満の乳児。



**相談すること**

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

## 【効能・効果】

体力中等度で、皮膚はかさかさして色つやが悪く、のぼせるものの次の諸症：月経不順、月経困難、血の道症、更年期障害、神経症、湿疹・皮膚炎

## 【効能・効果に関連する注意】

血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

## 【用法・用量】

次の量を食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
成人（15才以上）	1 包	3 回
7才以上15才未満	2/3包	
4才以上7才未満	1/2包	
2才以上4才未満	1/3包	
2才未満	1/4包	

## 【用法・用量に関連する注意】

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、止むを得ない場合にのみ服用させてください。
- (3) 食間とは食後2～3時間を指します。

## 【成分・分量】

3包(6.0g)中

温清飲エキス(4/5量)4.48gを含有しています。

日局 ト ウ キ …… 3.2 g	日局 ジ オ ウ …… 3.2 g
日局 シャクヤク …… 2.4 g	日局 センキュウ …… 2.4 g
日局 オ ウ ゴ ン …… 2.4 g	日局 サ ン シ シ …… 1.6 g
日局 オ ウ レ ン …… 1.2 g	日局 オ ウ バ ク …… 1.2 g

上記生薬量に相当します

添加物として、トウモロコシデンプン、ステアリン酸Mg、ショ糖脂肪酸エステル、乳糖を含有しています。

## 【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります。)
- (4) 本剤は吸湿しやすいので、1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返してテープ等で封をし、なるべく1日以内に服用してください。(開封状態で置いておくと顆粒が変色することがあります。変色した場合は、服用しないでください。)
- (5) 本剤は生薬(薬用の草根木皮等)を原料として使用していますので、製品により色調等が異なることがあります。効能・効果には変わりありません。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めのお店あるいは下記にお願いいたします。  
ジェーピーエス製薬 お客様相談室  
電 話 045-593-2136  
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
[https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai\\_camp/index.html](https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html)  
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)



ジェーピーエス製薬株式会社

製造販売元 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台196-1

発 売 元 横浜市都筑区東山田4-42-22